

台湾原住民族 ブヌン族との交流のゆうべ



ゲスト 台湾南投県信義郷イシガン（双龍）村
ブヌン族の皆さん

日時 3月3日(月) 午後7時～8時半

場所 東様似生活館（様似町大通 2-122-30）

入場無料・申込不要です

このたび、様似町では、アイヌ政策推進交付金事業の一環として、台湾原住民族・ブヌン族の皆様をお招きし、文化公演を実施します。

ブヌン族の普段の暮らしについてお話を伺い、素晴らしい歌声を聞かせていただきます。貴重な機会なのでぜひともご参加ください。

主催・お問い合わせ 様似町教育委員会（0146-36-2521）

○台湾原住民族とは

17世紀以降、大陸から台湾に漢民族が移り住む前から住んでいるオーストロネシア（南島）系の諸民族。20以上の言語や文化の異なる民族が存在し、そのうち16民族が政府に公式に認められています。その人口は、台湾の人口約2,300万人のうち、約59万人となっています。

台湾の中国語では、「先住民族」とは、かつていた人たち、今は存在しない人たちという意味があることから、当事者が議論を重ね、30年以上前に「原住民族」という名称を公式の名称として採用しました。各民族は「〇〇族」と呼ばれるのが通例です。

○ブヌン族とは

人口約6.1万人で、台湾原住民族のうち、人口は4番目に多いです。南投県、台東県、花蓮県、高雄市など台湾の中南部に住んでいます。ブヌン族は、八部和音の荘厳な合唱で世界的に有名です。

今回お招きする方々は、台湾の真ん中にある南投県にお住まいで、普段は農業などをなりわいに、それぞれ生活を営みながら文化伝承活動に取り組んでおられます。



○様似町とのゆかり

1998年に北海道ウタリ協会様似支部の会員が台湾を訪問し、イシガン (Isingan) 村をはじめ、各地で原住民族と交流しました。そのあと2000年にイシガン村の皆さんを様似町にお招きして交流会が開かれています。

そして昨年、様似アイヌ協会・様似民族文化保存会の会員が再度、台湾を訪問し、イシガン村をはじめ各地の原住民族の方々と交流しました。